

## 『指導救命士による口頭指導教育への取り組み』

	都道府県名	兵庫県
	所 属	西宮市消防局警防部指令課
	氏 名	西岡 明人
<div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">指導救命士エンブレム</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">なし</div>	職名・階級	指令第2係長・消防司令
	指導救命士養成研修 受講時期	平成 28 年度 指導救命士養成研修 第 2 期 修了

私は、指導救命士養成研修終了後、県での認定を受け指導救命士として、救急隊員教育・MC体制の構築などに携わってきました。

平成30年度からは、指令課に異動となり、通信指令員の口頭指導能力向上を図ることを目的に口頭指導教育の取り組みを行っています。

このことにより、通信指令員の口頭指導能力向上に一定の効果が認められたことから、口頭指導教育の参考事例として取り組みを紹介したいと思います。

### 【対象と方法】

複数の教育項目から成る研修カリキュラムを作成し、指導救命士が関与しながら指令課所属の救急救命士を講師として、通信指令員一人当たり年間25時間の履修を目標に、年度を通じ、以下の研修・訓練を計画的に実施しています。

それらの内訳は

- (1) 解剖生理、緊急度・重症度等の救急研修（座学）を実施。
- (2) 救急講習会を受講する市民に対し、口頭指導を実施する実戦的な口頭指導訓練を実施。
- (3) 外部講師を招聘しての口頭指導研修を実施。

### 【結果】

このことによって

- (1) 心肺停止事案に対する口頭指導実施率の向上が認められた。
- (2) 心肺停止事案に対する覚知～指令時間が短縮された。
- (3) 小児の呼吸停止と思われる通報に対して、慌てた通報者（母親）を適切に誘導し、躊躇なく口頭指導をしたことで、社会復帰に至った奏功事例が報告された。

## 【令和元年度指令課口頭指導研修風景】

模擬通報訓練



指令員による口頭指導



DVD再生による振り返り



講師講評及び指導救命士からのフィードバック



### 【特に工夫している点・改善方策等】

指令課に所属する指導救命士が救急救命士及び通信指令員に対して、日常的に行う口頭指導教育は口頭指導能力の向上に有効であると考えます。

その理由としては

- (1) 指令業務に従事する救急救命士が通信指令員を指導することで、指令業務の実情に即した、より実践的な口頭指導教育を行うことができる。
- (2) 指令課所属の救急救命士が、現場救急隊に積極的なフィードバックを依頼することで、現場救急隊と通信指令員との意思疎通が活発となり、口頭指導の改善につながっている。
- (3) 指導救命士が中心となって、外部講師を招聘しての口頭指導研修を実施することにより、他地域の実情やMC医師のアドバイスを聞くことなどで貴重な経験となる。

最後になりますが、今後も、指導救命士として先頭に立ち通信指令員の教育に携わりながら一人でも多くの市民の方を救命していきたいと考えています。